

令和7年度 ふるさと未来講座「自然科学」福井②

オールフクイで挑んだARグラス — 「sAkuRa GLASSES」の開発 —

日 時:10月11日(土)14:00~15:30

講 師:福井県工業技術センター 機械・金属部デジタル技術研究 G 主任研究員

芦原 将彰 氏

メイン会場:福井県生活学習館(ユウ・アイ ふくい) 映像ホール

サテライト会場:若狭図書学習センター



福井の産学官の技術を集結し開発されたARグラス「sAkuRa GLASSES」。講座では、実証実験を行うまで、約2年という短い期間で、軽量化や長時間利用などの課題を解決していった経緯をお話いただきました。

グループワークでは、「あったらいいな、こんなAR」と題して、自分の生活の中で欲しいARの技術について話し合いました。「料理の手を止めずにレシピを見られるとよい」、「スタジアム観戦時に解説が出るとよい」など、様々なアイデアが出されました。

講演後、福井会場では、講師が持参された3種類のARグラスの体験会を行いました。目の前をキャラクターが動いていたり、模様が浮き出て来たりして、体験をされた方々からは歓声が上がっていました。

受講された方々からは、「ARの仕組みがよく分かった」「夢のあるAR話で楽しかったです」「便利なグラスが近くで研究開発されたことを知れて、アイデアまでグループワークできて勉強になりました」との声が寄せられました。